

記者発表（資料配布）				
月/日 (曜日)	担当部署名	電話番号 (ダイヤル)	発表者名 (担当名)	その他配布先
1/13 (水) 14:00	県立考古博物館 企画広報課	(079)437-5589	事業部長 高瀬 一嘉 (学芸課長 中村 弘)	東播磨県民局 西播磨県民局

兵庫県立相生産業高等学校製作の銅鐸復元品受贈式の開催について

令和2年6月から当館と兵庫県立相生産業高等学校とが協力して実施した「望塚^{ほんづか}銅鐸復元プロジェクト」の成果物である「銅鐸復元品」が完成しましたので、下記により受贈式を行います。

記

- 1 日 時 令和3年1月20日（水）午前10時00分
- 2 場 所 兵庫県立考古博物館 講堂
- 3 内 容 県立相生産業高等学校が復元した銅鐸を県立考古博物館に寄贈
- 4 寄贈品 望塚^{ほんづか}銅鐸復元品（青銅製、鑄造）
- 5 出席者 考古博物館 館長 和田 晴吾
相生産業高校 校長 柴田 英俊 担当教員 竹下 邦彦 生徒6名
- 6 その他

事業内容及び望塚銅鐸の詳細については別添の概要のとおり
寄贈された銅鐸復元品は当館で公開・活用
(メインホール展示での公開)

令和3年1月21日（木）～2月28日（日）（無料）
(春の特別展での公開)

令和3年4月～7月（有料）
会期中に音色を聞いていただく他、復元プロジェクトの映像上映、復元を指導された竹下講師による講演会を行います。

望塚銅鐸復元プロジェクトの概要

1 銅鐸の復元について

兵庫県立相生産業高等学校の機械科では、平成 26 年度から地元の企業や博物館などと協力して、3 年生の課題研究という授業を通して「銅鐸復元」というテーマで青銅器の製作に取り組んできました。

望塚銅鐸を忠実に複製するため、当館の学芸員が成分の調合や厚みなどについて助言し、それを元に授業で作成したものを学芸員が確認するなど共同で製作に取り組み、12 月に復元品が完成しました。

復元品については、来館者が直接手で触れて見学できる「ハンズオン展示」の形で県立考古博物館で展示する予定です。



鋳型から銅鐸を取り出す様子



完成した復元品

2 望塚銅鐸について

望塚銅鐸とは、大正 3 年頃に加古川市八幡町で見つかった銅鐸で、平成 22 年から兵庫県が所蔵し、兵庫県立考古博物館が保管しています。

これは、弥生時代中頃（今から約 2,000 年前）の銅鐸で、高さ 40.2 cm、最大幅 25.0 cm、重量 3,270 g あります。一部欠損していますが、全体的によい状態で保管されています。

東播磨地域で出土した数少ない銅鐸で、X線を用いた形状調査や金属分析など詳細な研究が行われています。

